



みやぎ  
— 87号 —

発行元 独立行政法人国立病院機構宮城病院  
 発行責任者 広報委員長 稲木 涼子  
 〒989-2202  
 宮城県亶理郡山元町高瀬字合戦原100番地  
 TEL 0223-37-1131 FAX 0223-37-3316  
 ホームページ <http://www.mnh.go.jp/>

副院長就任にあたって

副院長 割田 仁

今春より宮城病院に着任しました、脳神経内科の割田(わりた) 仁(ひとし)と申します。どうぞよろしくお願ひいたします。医業30年余、そのうち20年を東北大学の教員として、また東北大学病院の医師として脳神経内科医を増やすための教育、治療法開発研究、そして脳神経内科の専門診療に従事してまいりました。この地で86年の歴史を有する当院では、安藤肇史院長のもと多くのスタッフとともに新たな職務を全うしたいと思います。

脳神経内科は大切な臓器である「脳」を中心に、脊髄(せきずい)や末梢神経、さらに筋肉と全身をみる診療科です。世界で600種類以上の疾患、10億人の患者さんがいるとされ、高齢化とともに増えています。その中でも、難治性・進行性の疾患、とくに筋(きん)萎縮性側索(いしゆくせいそくさく)硬化(こうか)症(ALS)や脊髄(せきずい)小脳変性症、そして筋疾患にとりくんでまいりました。近年、続々と新たな治療法が現れ、たとえば最も手強いALSの治療薬でさえ3~4種類あります。今後ますます、脳神経内科領域は治る・治せるようになりましょう。

それでもなお、新たに発症する方、すでに病状が進んでいる方がおられます。また何年、何十年と治療を要する疾患も多くあります。そのような疾患では、薬物療法のみならず、リハビリテーション医療や心理ケア、療養環境の調整、社会資源の活用など、多くの支援が求められます。たとえ病(やまい)があっても患者さん・ご家族が安心して暮らせるよう、とくに慢性疾患の医療、療養支援に尽力したいと考えています。

しかしいま当地でもきわ立つ人口減少と高齢化の中で、医師・看護師をはじめとした人員確保が大きな課題です。「人なくして実りなし」、私たち医療者・支援者自身が日々心身を整え、学び、職務をはたせる体制づくりと、地域連携を大切に前進してまいります。「地域とともに」歩む当院を今後ともご支援よろしくお願ひ申し上げます。

【基本理念】 『よい医療を安全に心を込めて、地域とともに』

【行動理念】

- 1、私たちは生命と人権を尊重し、患者さんを中心とした質の高いチーム医療を推進します。
- 2、私たちは難病、重症心身障害など国が担うべき医療と臨床研究を推進します。
- 3、私たちは地域の医療・行政機関と連携し、地域の方々への質の高い医療の提供及び疾病予防、健康増進に貢献します。
- 4、私たちは病院の機能を十分発揮できるよう、健全な経営と経営基盤の強化に努めます。
- 5、私たちは常に患者さん方から学び、向上する組織体を目指します。
- 6、私たちは健康で明るく働きがいのある職場づくりに努めます。



宮城病院公式マスコット  
キャラクター  
「みやべりー」

宮城病院  
Instagram



※読み取ってください

## 職場体験学習

5月14日・15日に山元中学校の2年生9名が当院で職場体験学習を行いました。中学生9名は医療現場で働く様々な職種を見学し、患者さんには多くの職種が関わっていることを学ぶことができていました。中学生が一番印象に残った職場は検査科でした。検査科では顕微鏡で実際に血球細胞を見ることができ、中学生も興味津々だったようです。

職場体験学習の最後に2日間の体験を漢字一文字で表してもらったところ、楽しいの「楽」、感謝の「謝」、繋がるの「繋」、療養の「療」、将来の「将」、経験の「経」、悩むの「悩」、そして「夢」をあげてくれました。中学生が表してくれた漢字を見て「今回の経験を楽しみながら将来について悩み、夢を叶えていって欲しい」と思いました。当院での体験学習が中学生の将来の選択の一助になればと思います。そして医療職の魅力が少しでも伝わっていたら嬉しいです。

(副看護部長 佐藤 秀子)



## ふれあい看護体験

第1回宮城病院ふれあい看護体験を6月4日に開催し、宮城県内の5名の高校生が参加してくれました。ふれあい看護体験は看護職に興味のある中学生・高校生を対象に「看護」の現場を体験してもらうことで、看護することや、人の命や健康について理解を深める機会とすることを目的としています。午前中は採血の見学や車いす操作、病院食の試食体験などを行い、午後からは病棟で集団レクリエーションに参加し、患者さんとふれあいました。高校生からは「来て良かった」「とてもいい体験ができた」などの感想がありました。高校生の楽しそうな笑顔から、体験学習や患者さんとのふれあいを通して「看護」の楽しさを知り、将来の道を考える機会になったのではないかと思います。



採血の様子を見守る学生さん達



病院食のお勉強

高校生5名の明るく爽やかな笑顔に、患者さんも私達看護師も元気をもらいました。今回の当院での看護体験が、参加してくれた高校生5名の将来の選択に少しでも役立ちますように。

(副看護部長 佐藤 秀子)



患者様と一緒にレクリエーションにも参加しました

## 永年勤続表彰



春うらかな日、今年度の永年勤続表彰伝達式が執り行われました。今年度は永年勤続20年以上が6名の表彰で、院長よりお一人ずつ表彰状と記念品が授与されました。

健康に留意し、家族の支えがあつての永年勤続であり、今後の更なる活躍に期待を込めた院長先生からの式辞がありました。

受賞されました皆様、おめでとうございます。

(給与係長 工藤 みき)



## 職場紹介 中央病棟2階

4月より中央病棟2階に看護師長として勤務しております岩瀬千絵です。よろしくお願いいたします。

中央2階病棟は重症心身障がい児(者)病棟です。4月から新人看護師1名を迎え、看護師25名、看護補助者5名の私を含めて総勢31名で、患者さんが安全に療養生活を送れるように一丸となって頑張っています。新人看護師はたくさんの研修で学習しつつ、先輩看護師の支援を受け、不安の中にも看護師となった自分の姿に胸を膨らませて日々過ごしています。入院している患者さんは、7歳から74歳と幅広く、山元支援学校に通う患者さんは8名もいて、支援学校の先生や療育指導室の保育士さんたちとも協力しながら日々の看護に努めています。

(看護師長 岩瀬千絵)



★7/セブター看護師と新人看護師★

## 職場紹介 中央病棟3階



★新人看護師★

中央3階病棟は脳神経外科、神経内科、内科の慢性期病棟です。慢性期ではありますが緊急入院対応や手術患者さんの対応もしています。あわただしい日々ですが、スタッフみんな明るく、パワフルに頑張っています。

今年度は新たに新人さん2名、6月に異動者1名も加わり、看護補助者さんも含め総勢31名となりました。さらにパワーアップして、優しく思いやりのある看護を提供できるように頑張ります。

(看護師長 小林 晴美)

# 七夕コンテスト開催

金賞



看護部長室

最優秀賞



放射線科

金賞



栄養管理室

銀賞



地域連携室・指導室

銀賞

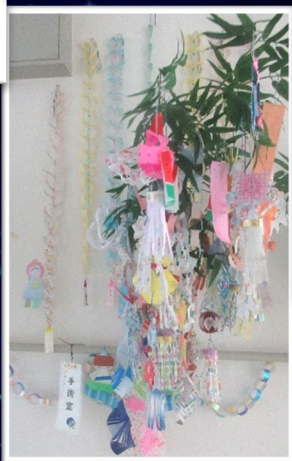


歯科外来

銀賞



中央病棟3階



治験（ちけん）ってご存知ですか？

皆さん、今までに何かしら「くすり」を使ったことはありますよね？私たちの健康に不可欠な「くすり」ですが、その「くすり」ができるまでに必要なプロセスのことを『治験』と言います。治験は国が定めた厳しいルールを守って行われますが、実際に「くすり」が誕生するまでには10年を超える長い年月がかかります。しかし、この治験というプロセスなしには、まだ治療薬のない病気に対する「くすり」や、より良い新しい「くすり」は誕生しません。献血やボランティア活動と同じように、多くの方々のご協力によって「くすり」は誕生します。

“治験は未来へのおくりもの”なのです。

当院では現在実施中の治験はありませんが、最新情報は随時ホームページにて公開してまいります。

(副薬剤部長 荒井 信二)



引用：日本医師会

地域医療連携室・医療相談室

主な対象疾患はこちら

- パーキンソン病
- 多系統萎縮症
- 脊髄小脳変性症
- 大脳皮質基底核変性症
- プリオン病
- 筋萎縮性側索硬化症
- 進行性核上性麻痺
- 筋ジストロフィー
- 多発性硬化症
- ベーチェット病
- etc...



こんにちは！地域医療連携室の木村と申します。

今回の連携室コーナーでは、指定難病の医療費助成制度についてご紹介したいと思います。この制度は、国が認めている指定難病の診断を受けた方で、一定の認定基準を満たしている場合に申請することができます。認定を受けると受給者証が発行され、医療機関窓口・調剤薬局等に提示すると医療費の自己負担を軽減することができます。月ごとの自己負担限度額については所得に応じて定められます。制度の対象となるかどうかは主治医へご相談ください。受給者証を取得するためには、必要書類を準備し、お住いの地域を管轄している保健所へ申請する必要があります。また、受給者証には有効期限があり、1年に1回更新申請が必要となります。

制度について知りたい方はお気軽に地域医療連携室までご相談ください。

(医療社会事業専門員 木村 麻美)

# 診療案内

令和7年7月1日現在

診療科	曜日	月	火	水	木	金
脳神経内科 (新患は予約制)	新患	張替 宗介	宮本 達夫 (新患のみ) 船山 由希乃 (第1・3・5)	宮澤 康一 (新患・再来)	松本 有史	割田 仁 (新患のみ) 齋藤 早紀 (第1・3・5)
	再来	宮本 達夫	割田 仁 (第2・4 再来のみ)	松本 有史 (再来のみ)	張替 宗介	金子 仁彦 (第2・4)
内科		清野 仁	清野 仁	志澤 聡一郎	清野 仁	清野 仁
		志澤 聡一郎	齋藤 拓矢	齋藤 秀行	志澤 聡一郎	志澤 聡一郎
		齋藤 秀行		齋藤 拓矢		菊地 章子
		木口屋 啓太				木口屋 啓太
循環器内科	午前		佐藤 公一	加藤 浩	東北大学病院から	
	午後		東北大学病院から (検査日)			
呼吸器内科			佐野 寛仁			
消化器内科	午後			県立がんセンターから (13:30~15:30) 第2・4週(木を基準)	県立がんセンターから (13:30~15:30) 第2・4週(木を基準)	
アレルギー科	午前	堀川 雅浩		堀川 雅浩		堀川 雅浩
小児科	午前	堀川 雅浩		堀川 雅浩		堀川 雅浩
		東北大学病院から		東北大学病院から		東北大学病院から
整形外科	午後					県立がんセンターから (13:30~15:30)
形成外科				館 一史		澤村 武 (週替わり 13:30~15:30)
皮膚科	午前				東北大学病院から	
脳神経外科		仁村 太郎	安藤 肇史	仁村 太郎	(手術日)	安藤 肇史
			永松 謙一 (不定期)			
歯科		稲木 涼子	稲木 涼子	稲木 涼子	稲木 涼子	稲木 涼子
		中原 寛子	中原 寛子	中原 寛子	中原 寛子	中原 寛子
専門外来 (予約制)	パーキンソン病外来	脳神経内科外来にて受け付け				
	頭痛外来	脳神経内科外来にて受け付け				
	もの忘れ外来	脳神経内科外来にて受け付け				
	ALS外来	脳神経内科外来にて受け付け				
	ふるえ外来(FUS外来)	脳神経外科 (予約制)		脳神経外科 (予約制)		脳神経外科 (予約制)
	糖尿病外来				医科薬科大学病院から	
	禁煙外来	午後				山本 蒔子 (第2・4週)
	女性外来	午後				山本 蒔子 (第2・4週)
	腎臓病外来	午後				公済病院から (第1・3週)
入れ歯外来			白石 成		重光 竜二	

**受診される方へ**

① 受付時間は8時30分から11時です。  
 ② 土曜日・日曜日・祝日・休日及び年末年始(12月29日から1月3日)は休診です。  
 ただし、**急患の方は随時受付いたします。問い合わせ先 0223-371131**  
 ③ 初めて当院を受診される方は、他の医療機関からの紹介状をお持ちください。紹介状がなくとも受診はできますが、その場合初診時に**2750円を負担**していただくこととなりますので予めご了承願います。



## 交通のご案内

●自動車でおいでの方●

■仙台方面から■

仙台市中心部から南へ約40km、国道4号線と6号線分岐点から南へ20km、国道6号線314.5kmポイント(標識)が目印です。

高速度道路ご利用の場合、常磐自動車道山元ICで降り、国道6号線を相馬方面へ南下。山元ICから約5km。

■相馬方面から■

国道6号線を仙台方面に向かい、宮城・福島県境から約10分です。

●交通機関をご利用の方●

■仙台方面から■

JR常磐線山下駅下車。タクシーまたは町民巡回バス利用。(詳しくはお問い合わせください)

